



2006年11月7日

プレスリリース

市場の均衡が戻り、製麦業者と生産者の収益が回復方向へ

MAGB(英国製麦業者協会)のデイヴィッド・ウィルクス会長の話によれば、英国では、将来に向けて麦芽提供を維持できる環境が整備されつつあるということです。しかし、生産者、製麦業者、醸造メーカーや蒸留メーカーは、これが実現するように協力して努力する必要があります。本日開かれた年一度のMAGBの午餐会の席で、会長として挨拶したウィルクス氏は、市場で重要な変化が起こっていることにより、均衡が戻りつつあることを説明しました。

彼は市場における変化について触れ、英国は真っ先に麦芽生産量を縮小させてこれに対応し、この動きが欧州連合や北米の他の国々にも広がったことを説明しました。欧州の大手製麦会社が倒産したことも、麦芽供給量の低下につながっています。供給量の低下に加えて、北欧と東欧で収穫量が減少したことと、最近のオーストラリアの早魃で麦芽用大麦が不足していることも市場に影響を与えています。一部の製麦工場では、麦芽用大麦が不足しているために、2007年度は全生産能力での生産活動を行うことができないものと見込まれています。

彼は次のように説明しています。「当然ながら、多くの麦芽のバイヤーにとって一番大切なことは、原材料を確保することです。サプライチェーン全体を通して、今後長期的な供給の確保により大きな焦点が当てられることになるでしょう。これによって、製麦業者と生産者の収益性が向上することになり、将来的な市場の維持に向けて確固とした基盤が築かれることでしょう。」

次ページに続く

さらに彼は、MAGB の穀物委員会で、最近生産者に麦芽用大麦の生産を要請するとともに、製麦業者が生産者に魅力的な価格を提供することを保証したことも付け加えています。

英国の製麦業界では、生産量の縮小に加えて、アシュアード・UK・モルト(AUKM)スキームを使用した活発な英国麦芽のプロモーションにも励んでいます。2003 年に設置されたこのスキームは、そのスキームの下で生産された麦芽を使用する醸造メーカーや蒸留メーカーにブランド保護能力を提供する上で、世界をリードしています。AUKM では、そのメリットの認識を広めるために、ニュースレターを発行したり、日本語バージョンのウェブサイトを開設したりしています。

デイヴィッド・ウィルクス会長は、次のようにまとめています。「業界が今後も厳しい状況を生き延びていかなければならないことは疑いようもありません。しかしながら、最近の展開と英国の製麦業者のとする積極的なアプローチにより、私たちには、業界における優位な位置づけからメリットを得る優れたチャンスが生まれています。今や、私たちが成し遂げてきたことを集大成し、関係者一同と協力して、英国の麦芽が世界の麦芽市場で最高のプレミアム製品であるという認識を浸透させることが必要になっています。生産者、醸造メーカーや蒸留メーカーと協力することにより、英国の製麦業者は、将来的に維持できるサプライチェーンを構築し、関係者一同に安心感と収益性を提供することができます。」

- 以上 -

エディター用の注記

MAGB は、自社製品のために麦芽を製造する醸造メーカーと蒸留メーカーの製麦部門に加え、英国内外への販売用に麦芽を製造する企業を含む、製麦産業のすべての側面を代表する機関です。加盟 14 団体の麦芽製造量は、毎年英国で製造される麦芽の 98 パーセントを占めます。MAGB の目的は、英国製麦産業の促進と保護を行うことによって、世界的な拡大を目指すことです。詳細については、MAGB のウェブサイト www.ukmalt.com をご覧ください。

2003年に設置されたシュアード・UK・モルトスキームは、食品安全性、品質、およびトレーサビリティをはじめとする主要製造領域をカバーしています。この種のものでは世界をリードするスキームで、原料生産保証スキームと統合することにより、サプライチェーン全体におけるブランドの保護を可能にします。詳細については、www.assuredukmalt.com をご覧ください。

詳細については、下記までお問い合わせください。

ソフィー・ハデン(Sophie Hadden) Tel: 01604 654260

Email : sophie.hadden@ceres-pr.co.uk

ピーター・クロウ(Peter Crowe) Tel:

Email:peter.crowe@ceres-pr.co.uk